

INTERVIEW

ハウスリフォーマー
育成学院
(長崎県西彼杵郡)

キッチン、トイレ、洗面工事ができる「多能工」育成 「高粗利体質の業者を増やしたい」

トイレ、洗面所、キッチンまでマルチに施工できる多能工「ハウスリフォーマー」。今春からその育成に乗り出しているのが、ハウスリフォーマー育成学院（長崎県西彼杵郡）だ。自社職人を持つことが重要と話す中田竜学院長に、学院の特徴と目指す未来について聞いた。

12日間80時間の研修

中田 竜学 院長



—学院では何が学べて、卒業後はどうなれるのでしょうか。

「単なる多能工ではなく、トイレ、洗面所、キッチンのリフォームを、それぞれ1日で完了できる職人を育てるカリキュラムが大きな特徴です。これによって高粗利体質のリフォーマー業者を増やすのが私たちのビジョンです。具体的には、12日間の合計80時間のプログラムを組んでいます。この日はトイレの組み立て、この日は洗面台取り付けなど、部位ごとに1日集中してトレーニングして

—育成機関としての特長はどこでしょうか。

「徹底的に「現場」を再現していることです。「教室と実際のリフォーム現場が違い過ぎるので、現場に出ると戸惑う」という声をよく聞きます。広い教室なら、機器や部

品をフロアに広げて組み立てることができませんが、リフォームの現場は一般の民家なので、トイレの狭い空間でしか作業できない、といったことが普通です。

—そのため学院の研修所は、民家のスペースをそのまま再現したものになっています。それが最大の特徴ですね。

—まさに現場そのものの空間で研修できるというわけですね。



▲ベテラン職人が多能工を育成



▲民家を再現したリアルな空間で作業を行う

1晩だけ研修所に泊まります。なぜか。リフォーム中のお宅で、施主がどんな気持ちで寝起きしているかを知るためです。作業中の雑然とした場所での暮らしを1日体験するだけで、お客様の気持ち

—研修を通じて学べるようになっていきます。リフォーム関連クレームの9割が人的なもの。つまり、職人の接客の悪さが原因と

—トイレ、洗面所、キッチンのリフォームスキルに絞り込んでいるのには、何か理由があるのでしょうか。

「私たちが注目しているのは「小規模な水回りリフォーム」です。事実、100万円未満の工事がリフォームの5割を占めており、小規模工事ほど件数が多い傾向にあります。ところが、この分野の需要が増えるのは分かっているのに、職人不足から対応できない、外注すれば段取りが大変なの

—実際にどのくらい粗利が高まるのでしょうか。

「トイレリフォームを実際に挙げると、外注による分離発注の粗利が3万円9000円なのに対し、自社職人によるリフォームの粗利は8万9400円。実に2倍以上です。

—これは小規模リフォームが発生する家は、何十年も前の住宅とは違い、躯体もしっかりしているし断熱材も入っています。ですから、トイレの取り換えとクロス張りの替えといった簡易なリフォームだけで済みます。

—現在は、大改修を手掛

—将来的には、多能工二

—将来的には、多能工二



▲設備取り付けに加えて、壁紙の張り替えも学ぶ



▲部屋別に大手メーカー3社の水回りを繰り返し組み立て

—現在は長崎県に1校のみです。全国展開の予定は。

—もちろん視野に入れています。まだ開校して半年しか経過していませんが、1年間研修を実施してきて、運営的に問題なければ他県にも広げる予定です。

—講師は、現場50年のキャリアを持つ超ベテランの職人をはじめてとする3人。中には20代の若手講師もいるのですが、実際にリフォーム現場で働きつつ講師も担っているの、現場で起こっていることを研修に反映でき、よりリアル感を出せるんです。

—すでに60人を超える研修生が卒業し、現場で活躍しています。リフォーム店だけでなく、異業種からも問い合わせが寄せられるなど、多能工ニーズはもっと多方面に広がると見えています。

—将来的には、多能工二

—将来的には、多能工二

—将来的には、多能工二

—将来的には、多能工二

—将来的には、多能工二